

寺岡直彦 経歴

- ・1944年 昭和19年 4月3日 中国 鞍山市で生まれる
- ・1947年 昭和22年 8月 葫芦島から博多港へ引き上げ船で帰国
- ・1959年まで熊本県荒尾市で育つ。15歳 荒尾市中学校卒業
- ・1959年3月 志望校受験失敗
- ・1959年 5月から志と違う調理の道に入る。
(福岡・大阪・長崎・大分→博多 9年間修業を積む。)

- ・25歳~27歳までの約2年間、復帰前の沖縄那覇の日本料理春駒の調理長を務め
27歳から29歳までの3年間、福岡市 料亭阿さ乃で調理部長を務める。
- ・29歳 8月 佐賀国体の時、皇太子・美智子殿下の料理を当時亀井知事より任命を受け、太宰府歴史資料館で料理を献上させていただいた。
- ・29歳 その後退職し、アラスカより海藻に産みつけられた子持ち昆布を日本初で個人で輸入する。
- ・30歳 (有)アイカネジャパンを創立。カジキマグロを週3便台湾から空輸していた。九州の各市場に約15年間(30~45歳)卸業をしていた。
日本料理てら岡と二足の草鞋を履いていた。

- ・32歳 西中洲国体道路に「味処てら岡」27坪 開業する。
- ・35歳 渡辺通5丁目に 日本料理てら岡 土地取得・建築し、開業。
- ・36歳 てら岡食品工場 開業
- ・37歳 博多区中洲5丁目 てら岡 中洲店を土地取得・改装し開業。
- ・39歳 西中洲春駒 土地取得し、建築開業
- ・60歳 故郷荒尾市に桜の植樹を始めてから20年に成る。

- ・2018~2019年 中洲店 てら岡 解体
- ・2019年 10月 7階建てに新築し、解いたお茶室・茶座敷を5階に再現し開業
- ・2020年 10~11月 コロナ対策を講じる

- ・2021年 12月 本社事務所ビル・新宮食品工場を売りに出す
- ・2021年 1月27日に渡辺通の事務所ビル 売却
- ・2021年 1月末に新宮食品工場を閉鎖
- ・2021年 3月 新宮食品工場をおせち専用工場に切り替え再開
- ・2021年 4月 コロナ緊急事態宣言
- ・2022年 工場を最新の設備に改修し、おせちが10万セット製造可能な工場となる
- ・2022年 中洲本店 4階を「匠の道場」に改装する

【寄贈】

- ① 東郷青児 木立 300 号 福岡市美術館 てら岡 30 周年記念で寄贈
- ② 楠田神社に黒田藩お抱え絵師 三苦英ノ助 の「飾り山笠合戦屏風」
を寄贈→山笠の時期には展示されている
- ③ 50 歳の時、ニューヨーク貿易センター地下爆破事件(2 月 26 日)に遭遇し 106 階
のレストランから非常階段で 2 時間かけて避難する自分たちで撮ったビデオを KBC
とニューヨーク貿易センター記念館に寄贈。
- ④ 同年、致知出版社から「志変えると人生変わる」著書を出す。

【学び】

- ① 27 歳~29 歳 天与庵老師に茶道と茶懐石の指導を3年受ける
- ② 42~43 歳まで伝記作家「小島 直記」先生の伝記学ぶ。
東京・大阪で2年間、人間学を受講する。
- ③ 58 歳~76 歳 稲盛和夫塾長の盛和塾で、学びを受ける。
63 歳 盛和塾 全国大会で経営発表をさせていただく。
- ④ 2021 年 8 月から 小泉武夫先生のご縁で発酵食品、ふぐ魚醬の
指導を受ける。
- ⑤ 宮城大学発酵化学研究室・発酵文化推進機構・てら岡の三社共同開発の
「ふぐ魚醬ポン酢」 ふぐ骨魚醬製造特許出願中